

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781

平成13年2月(2001年) No. 422

OMC撮影会は「水郷柳川」 3月17日(土)～18日(日)ひな祭り撮影

今年の撮影会は、例年より少し足を伸ばして九州福岡県柳川市に、昔から伝わる「雛祭り」行事のうち、中心となる「雛祭り水上パレード」の日に合わせて企画しました。3月一杯は市内あげての華やかな雛祭りで、なかでも「さげもん」と称する「手まり」や「人形」「縁起もの」など手づくりの品が、駅でも商店でもところ狭しと下げられている風情は絵になります。また、北原白秋の郷としても知られ、白秋家の雛飾りも豪華なものです。元立花藩主の料亭「お花」の雛飾りは一見の価値があります。別紙の通り企画しておりますので、同封のハガキにて、参加・不参加の確認を取りますので、例会の日までにご返事ください。
(合原記)

新年会は27名参加で盛り上げる

昨年に引き続き、今年の新年会も法善寺の「さと」で1月14日の夜、総会を兼ねた新年会を催しましたが、例会出席者より多い27名の参加を得て、楽しく和やかなひとときを過ごすことができました。席上、昨年度の最多出品者、皆出席者などの表彰が行われました。なお、増池さんが皆出席者の名簿より抜け落ちていましたので、おわび申し上げます。

年会費値下げ、1万円が8千円に

会員数が30名の大台を維持できる見通しがついたのと、デッキ等も揃えたので、今後は大きな出費はないものと考え、会費を2千円値下げしました。活動の内容は落とすことなく頑張ります。

2月例会と作品研究会のお知らせ

— 研究会はノンリニアの初歩について、朝10時より—
 2月24日(第4土曜)18時より、阿倍野市民学習センターにて例会を行います。どうぞ作品をお持ちになってお集まり下さい。作品研究会は、例会日の朝10時から藤原世話役の講義でノンリニア編集の初歩について研究会を開催します。常識的、かつ基本的知識に絞ったお話と思いますので、どなたでもご参加くださるようお願いいたします。
 なお、今回は午前・午後と会場を借りるので、会費は1,000円です。

■玉井さんが第3回名古屋ビデオコンに入選

OVCの当尾撮影会作品を心象風にまとめ直して出品され、見事入選されました。お目出度でございます。作品「当尾心象」5分20秒。

■新年会会計報告

・収入の部	・支出の部
会費 6,000円×27名 = 162,000円	新年会費 165,910円
会からの補助金 3,910円	差引き 0円
平成13年1月14日	以上の通り相違ありません。
	会計：森 立会人：安居良枝

1月例会のレポート

1月例会は珍しく合原会長が旅行で欠席、有村世話役もコンテスト入選表彰式参加等で連続出席記録を中断されましたが、24名の会員さんと10本の作品が寄せられ、まずまずの例会となりました。司会は関さん、書記：安居(利)さん、デッキ係：奥、渡辺の両氏、照明兼受付係は：安居良枝、増池の両氏の担当で会を進行しました。

■出席者：江藤、玉井、関、河合、安居夫妻、森田、奥、渡辺、増池、森、森口、宮崎、江村、西村、藤原、前田、那須、華岡、金子、高田、今井、中尾、岡本、以上24名(敬称略)

■上映作品(今月の講評は安居利次世話役です)

1) 当尾心象 玉井 勺さん 5分20秒
第3回名古屋ビデオコン入選作。OVCの撮影会の作品を心象風にまとめられた秀作。細部にわたって緻密な構成と撮影技術を駆使して当尾の里の風情を玉井さん流に上手に表現されています。

風雨にさらされた石仏の表情と池面にゆれる寺の屋根。人里離れた里の風景をアンダー目に押さえた画面でこういう風にまとめると当尾の里の印象も詩的にしあがるものだと感心しました。同じ処を歩いた筆者とは目の付け所もまとめ方も全く違うの見て、いろいろ考えさせられました。心象ものには、ノンリニアが大きな力になると思います。その技術の応用で更にすばらしい作品を作ってください。期待しています。

2) ひらの卿 関 剛さん 6分20秒
昨年秋のOVC撮影会作品の改革編。平野の撮影会では松村さんの語りを藤原さんがDATでとって全員に配って参考にするという環境の為、語りを入れないと悪いような雰囲気でした。それで関さんは最後に松村さんのシルエットを入れ語りのエッセンスをかぶせるという苦肉の策を取られました。その構成もさすがとは思いましたが今回の改革編のように何の制限もなく本来の編集方法の作品を見せてもらうとホットして落ち着きます。制限つきでとられたカットの作品ですが、始めから本格的に古い平野の印象を追われたらモットすばらしい作品が生まれたことでしょう。

3) 信濃錦秋 河合 源七郎さん 6分46秒
どこかで聞いたことのある有名な曲をGBMに選ぶのも、逆にひとつの方法だと司会の関さんのお話でした。河合さんは画面の雰囲気と音楽をよくあわした選曲で成功されていますが、音楽知識の乏しい筆者などは失敗しそうなケースです。BGAという部門があります。美しい画面と音楽をみていますと頭の中は全くとりとめのないことを連想しています。頭の休息には持って来いの分野です。一瞬その世界に入りこんでいたとき、バイクの音にはっと現実の世界にひきもどされました。そしておわりのマークが出ました。バイクの音はともかくBGVの世界もいいものだと思います。

4) 横浜メモワール**安居 良枝さん****5分10秒**

神奈川ビデオ映像祭に参加した時の状況を翌日横浜の町を映しながら、思い出として描いた作品ですが、少々無理に、こじつけた感があります。作品は別として、司会者も言っておられたように、コンテストは審査員の人物によって良し悪しが決められるので、逆に審査員の顔ぶれで題材を決めないと損をすることは確かなようです。神奈川は先ず主張ありき、でそれをいかに興味深くみせるかにかかっているようでした。ドラマのような構成が求められていました。自然をいかに切とって詩的な感じで表現するかという分野とは求めるものが違いました。フェスティバルの作品を見て若い人の感性はなるほどそうゆうものかと、カルチャーショックを受けました。

5) 氷川丸の昭和史**安居 利次さん****5分50秒**

私の生まれと同じ昭和5年就航の豪華船氷川丸は、前から関心がありました。あまり気が進まない家内を強引に引っ張って船内を映しました。当時を再現した船内は今からみれば、一等と三等船室の差別がひどく、今ジェット機で問題になっているエコノミーシンドロームなど問題になりません。戦争を潜り抜け戦後活躍した同僚として船内のすべてに愛着を感じました。ぶつぶつ言っていた家内を説得して映した甲斐があったと思ったのですが、作品の出来は今ひとつでした。ノンリニアになるとやたらオーバーラップをかけすぎるきらいがあることを反省しています。

6) 大阪城鉄砲隊**渡辺 雄史さん****12分**

渡辺さんはボランティアで大阪城のガイドをされています。鉄砲隊の射撃の実演を見たことのない他のガイドさんのために参考ビデオを作られました。珍しい画像に見入りました。当時は1発打つのに30秒もかかったのですね。伝えられる信長の3段打ちの秘策の意味が良くわかりました。それから、「火ぶたを切る」という言葉の意味が火縄銃のメカから来ているとは知りませんでした。短時間でノンリニアの技術を習得された意気込みに脱帽です。大阪城のガイドの裏話など作品化して見せてもらえればみんな興味しんしんだと思います。

7) フラミンゴ**増池 茂さん****4分50秒**

身近なものを題材に！をモットーにこの間からZOOシリーズに取り組んでおられます。今回はフラミンゴ。正確できれいなショットをお撮りになるので興味のあるフラミンゴの生態が描かれていました。野生のアオサギが安住生活者のフラミンゴの餌を目当てに闖入して来るのですね。また いじめ かなと思ったら交尾でした。それを邪魔する仲間がいたりその場面はすごく面白いので、できれば擬人化してやり取りを会話にしてかぶせたら、と司会者の弁でした。1本足で立っているほうが楽なのか、休んでいるフラミンゴは、みんなその姿勢。それだけのカットを集めても編集次第ではユーモアがでるように思います。次のZOOシリーズでは増池さんの目を通した動物観をお願いします。

8) ドンド焼**森 保信さん****8分40秒**

森さんお住まいの泉北ニュータウン桃山台の行事をお撮りになった作品です。北の千里ニュータウンと同様、オールドタウン化が進みこういう行事の担い手も継承者が少なくなり、維持が大変だそうです。更に餅まきはいいとして本番のドンド焼になるとナンデもカンデも焼くわけにはいかないようで、ヤレ、ダイオキシンの出るとか、窒素化合物がでるとかでゴミの収集の時と同じように分別焼きが義務づけられているようで、伝統行事の雰囲気は阻害されてしまいます。松の木を切るところから準備の様子、餅つき、車の上からの餅まきドンド焼など克明に撮られています。現在のニュータウンでの行事の実態をカットともに世相のうつりかわりを説明されればもっと面白い作品になったのではないのでしょうか。

9) どやどや

江村 一郎さん

4分12秒

OMCの新年宴会の日が四天王寺の修正会結願法要にあたりしかも、午後3時からのどやどやですから、時間的に大変だったろうと思います。宴会にはチャンと出席されていたんですから。六時堂で牛王宝印の護符を若者が裸で奪い合う様は勇壮です。長まわしで撮られているのに迫力があるのは江村さんの感性の現れでしょうか。たしか少し前まで清風高校がメインだったように思うのですが、今回の映像を見ると四天王寺羽曳野高校の旗が見えました。行事は自前の高校でということなのですね。男女共学になったのが最近のせいかな生徒の数が少なく勢いも清風の時と比べて弱いように思いました。裸にかける水が粒になって見えました。シャッタースピードが速くしたのとちがうかと司会の指摘がありました。オートで撮ると太陽の直射下では絞りとしutterスピードの両方が動くのでマニュアルでスピードを固定しないとだめなようですね。私たちも勉強になりました。

10) 冬の道東

那須 典彦さん

8分15秒

「去年撮ってきた映像を昨日繋いできたいいい加減なものですわ。」といつもの調子的那須さん、しかし雪を撮ることは難しいです。更にマイナス25度ではバッテリーの事もさることながら繊細なDVテープはテンションの弱さもありテープの温度による硬化がヘッドとの接触をわるくしてブロックノイズの原因になるらしいです。それはさておき、きれいなカットも何か長く感じました。司会はBGMを画面の変わり目ごとに代えたら・・・という意見でした。河合さんのと同じくBGA的な構成が原因ではないでしょうか。それにしても鳥の奇声はBGAの世界に浸ることも許しませんでした。すごい技術をお持ちになっているのですからやはり、これからは那須さん自身のメッセージを画面から発信してほしいと思います。

■インターネット関連

インターネットの世界もいよいよブロードバンド(高速化:1~1.6Mbps)の時代になってきました。従来から構築されていたCATVに加えて、最近世間的话题を集めているADSLが大阪市内の一部に限って供用され始めました。2001年中には市内全域と、周辺衛星都市の一部に拡大される計画です。従来のISDN(64Kbps)や、アナログモデム(28~56Kbps)では、160×120ピクセルの小さな画面でしか観られなかったネット映像も、面積でこの4倍の320×160ピクセルの大きくてより綺麗な映像を配信できるようになりました。本格的な普及には、プロバイダーのディスク容量の少なさなど、まだまだ問題は山積していますが、インターネット新時代へ一歩踏み出したことは喜ばしいことです。「ビデオスケッチ」にもブロードバンド対応のテスト映像を配信しました。

<http://www5.ocn.ne.jp/~nbc/adsl-2/adsl.hrm>

那須典彦さんがインターネットを始めました。メールアドレスは下記の通り。

n-nasu@tcn.zaq.ne.jp

VIDEO 1月のインターネット例会作品紹介

「当尾心象」玉井 匀作品(画像をクリックしてください、スタートします。)

No	Real Video5.0	for 28K modem	962KB 5分24秒
1			